11月 えんだより

真美ヶ丘第一小学校附属幼稚園
令和8年10月

日	曜日	行事内容・その他	弁当
1	日	絵画展(1.2.3日)	
2	月	移動動物園	○
3	火	文化の日	
4	水	まみっこタイム (年長のみ8時10分登園)	
5	木	体育教室	○
6	金	収穫祭	○
7	土	真美一ふれあいまつり(雨天の場合８日に順延)	
8	日		
9	月		○
10	火		○
11	水		
12	木		○
13	金	幼保小合同遠足(年長児のみ)	○ 年少・年中
14	土		
15	日		
16	月		○
17	火	やきいも会	○
18	水		
19	木		○
20	金	誕生会	○
21	土		
22	日		
23	月	勤労感謝の日	
24	火	**園内研修のため午前保育** (預かり保育あり)	午前保育
25	水	24日分の弁当日振替(1日保育)	○
26	木	小学校給食体験(年長児のみ)	○ 年少・年中
27	金	避難訓練・体重測定	○
28	土		
29	日		
30	月	奈良県幼児教育研究大会 **※11時15分降園　預かり保育なし** **(12月9日を弁当日として振り替えます)**	午前保育

11月引き落とし
3歳児：550円（PTA費￥550）
4歳児：1030円（PTA費￥550・絵本代￥480）
5歳児：2540円（PTA費￥550・絵本代￥490
ｱﾙﾊﾞﾑ代￥1550）

連絡事項

☆服装について
年長・年中児はブラウスの上に紺のブレザーを着用して下さい。必ず名前を書いて下さい。3歳児は体操服の上や下に寒い時は上着を着用するなど各自で調節してください。

☆絵画展について(1.2.3日)
広陵町中央体育館で広陵町内の年長児の園児絵画展があります。詳細は案内の通りです。

☆移動動物園について(2日)
案内の通りです。

☆まみっこタイムについて(4日)
真美一小学校の異年齢交流に年長児が参加します。
8時10分に体操服で登園して下さい。制服はカバンの中に入れておいてください。

☆就学前健康診断について(5日)
5歳児は就学前健康診断が行われます。**各家庭で時間になりましたら園までお迎えに来てください。**

☆収穫祭について(6日)
年長児が小学5年生と一緒に育てたお米を使って、ポン菓子を作ります。お米がポン!とはじけて、おいしいポン菓子に変身する様子を子どもたちと一緒に楽しみます。真美一小の5年生も参加します。

☆真美一ふれあいまつりについて(7日、雨天の場合8日)
案内の通りです。詳細は後日連絡します。

☆保幼小合同遠足について(13日・年長のみ)
小学校1年生と西保育園年長児と一緒に竹取公園まで歩いて遠足に行きます。お弁当を一緒に食べたり、遊んだりします。詳細は後日お知らせします。

☆やきいも会について(17日)
地域の方々に協力していただき、みんなで焼き芋を作ります。焼き芋が焼ける間、西谷公園で遊ぶ予定です。

☆奈良県幼児教育研究大会について(30日)
体操服登降園とします。降園時間は11時15分です。預かり保育はありません。ご協力よろしくお願いします。

☆年長・年中児は、幼稚園でなわとびを使いますので、園からもらったなわとびに名前を書いて持って来て下さい。なお、年少児は園のなわとびを使います。

預かり保育時の駐車利用について
16時以降に園庭横の小学校学童の送迎場所に駐車した際は、速やかに駐車場からご退出ください。ご協力よろしくお願い致します。

12月の主な行事予定
体育教室(7日)、弁当最終日・体重測定(10日)、お餅つき会(11日)、めばえ教室(15日)、個人懇談(15・16日)、誕生会(17日)、クリスマス会(18日)、＜年長児＞エコールマミクリスマスコンサート(19日)、第2学期終業式(23日)

◎つぼみ組
＜ねらい＞
〇友だちとのやりとりを通して、遊びの広がりを楽しむ。
〇身のまわりの事など自分でできる事は自分で行い、やってみようとする。
〇戸外に出て、秋の深まりを感じ、季節ならではの自然事象に触れ親しむ。
＜今月の思い＞
朝夕は寒い日もあり、秋の深まりを感じますが、日中はまだまだ気温が高く、園庭で遊ぶと汗だくになることもあります。子どもたちは、汗をかき、暑く感じると保育室に戻り、水分補給をしたり、室内で涼んだりして、自分から心地よく過ごすように行動する姿が見られます。また戸外に出る時には「先生、虫のしゅーして」と虫よけスプレーのことを保育者に声をかけてくれます。保育室に入って休憩したり、虫よけの必要性を自分たちから知らせてくれたり、困っている友だちのことを保育者に知らせてくれたりする姿をみて、しっかりしているなと感心したり驚いたりしています。
自分でできる事は自分でやってみて、できた時には十分に認めることで、達成感や喜びを感じられるようにしていきたいです。
クラスのお友達のことが、気になり一緒に遊びを楽しむ姿が多く見られるようになりましたが、一緒に遊びたいことや、自分の気持ちをうまく伝えることができなくて、押したり叩いたりしてしまうことでトラブルになることも増えてきました。言葉でうまく気持ちを伝えられるように仲立ちしながら、友だちと遊ぶ楽しさを感じ、一緒に遊ぶことでより遊びが深まるように見守っていきたいと思います。
つぼみ組さんの、ザリガニの赤ちゃんが生まれました。今、保育室では顕微鏡をテレビにつなぎ、大きくみんなで見ることができるようにしています。その顕微鏡でザリガニの赤ちゃんを見ると、小さなハサミや足もちゃんとあるのを見ることができ、子ども達は、驚き大喜びしていました。ザリガニだけでなく、葉っぱや木の枝を拾ってきては顕微鏡に映し、楽しんでいます。今月は公園や散歩に出かけ、秋の自然に触れる機会を多くもつようにしたいと思っています。また発見したものを顕微鏡で見て楽しんだり遊びに取り入れたりして、感心をもち親しめるようにしていきたいです。

◎すみれ組



＜ねらい＞
〇保育者や友だちと関わりながら好きな遊びを十分に楽しむ。
〇相手の思いを知ったり、相手の言うことに応えたりしながら遊びを進めていこうとする。
〇身近な秋の自然の変化や不思議さに興味をもつ。
＜今月の思い＞
ドキドキしながらもみんなで頑張った運動会。かわいい ６ 人の忍者が修行をしたり、踊ったりしている姿をたくさんのお客さんに見てもらうことができました。みんなでやり遂げたことで、“いつも一緒”という気持ちもさらに大きくなり、遊びの中で「〇〇しよう」「一緒に遊ぼう」「私が～するから△△ちゃんは～して」と誘い合って ６ 人で遊ぶことも増えてきました。室内での遊びでは「お料理つくろう」「私、お姉ちゃんね」と言って料理をつくってテーブルにいっぱい並べてままごとが始まります。「ご飯つくるからちょっと待ってね」「赤ちゃんの離乳食つくるね」「お仕事行ってきまぁす」とやりとりしながら遊んでいます。戸外ではスケーターに乗って警察ごっこをしていて、警察と泥棒に分かれて遊んでいます。また今までは自分の作った物やしていることを友だちも遊ぼうとすると「これは〇〇の！」と強い口調で言ってしまうこともあったけれど、最近は一緒に作ったり役割を決めて遊んだりする姿も見られます。遊びの中で、友だちが困ったり嫌がっても、自分の思いのまま進めていくこともあるので、友だちの思いも聞いて、互いの思いがうまくいくようにするにはどうしたらいいか、折り合いをつけながら遊びを楽しめるようにしていきたいと思います。
先日、近隣の公園に行ってどんぐりや落ち葉を見つけたり、小学校の校庭で落ち葉を集めたりしました。「これ、穴あいてる」「ギザギザしてる」「やわらかい葉っぱとカサカサした葉っぱがある」「大きいどんぐりいっぱいとった」「帽子の形違う」と一人一人面白い発見や違いを見つけて大興奮。あっという間に過ぎてしまう秋を全身で感じて、自然物を遊びに取り入れながら、存分に楽しめるようにしていきたいです。

◎つき組



＜ねらい＞
〇友だちと共通のイメージや目的をもって、思いや考えを伝え合いながら遊ぶことを楽しむ。
〇試したり工夫したりしながらイメージしたものや自分のアイデアを実現させようとする。
〇秋の自然に興味をもち、面白さや不思議さを感じたり、遊びに取り入れたりして、親しみをもつ。
＜今月の思い＞
過ごしやすい気候となり、戸外では子どもたちの元気な声が毎日のように聞こえてきます。運動会に向けての経験を活かし、のぼり棒や跳び箱など今まであまり興味のなかった遊びやハンターごっこのようなルールが複雑な遊びにも挑戦する姿が見られるようになりました。友達の姿をよく見て同じように行ってみようとしたり、どうすればみんなで楽しく遊びを進めていくことができるのかと、子どもたちなりに考え工夫して遊びを進めたりする姿も見られるようになりました。様々な物事に関心をもち、その実現に向けて試行錯誤を繰り返す機会をたくさんつくり、その楽しさを感じてほしいと思っています。
１０月は話し合いを行う機会を多くもてるようにしてきました。リレーでは「チームで早く走るためには」という共通の目的に向かい、毎日のように話し合い、自分の思いを相手に伝えることや、友達の話を聞きその思いを受け止めることの大切さを感じてきました。運動会後も好きな遊びの際には友達に自分の思いをはっきりと伝えたり、相手の話を聞いて折り合いをつけようとしたりする姿が増えてきました。自然と会話が増え、友達同士の仲も深まってきているように思います。引き続き友だちと共通の目的をもって思いを出し合いながら、遊びを進めていってほしいと思っています。
秋が深まり、子どもたちから秋の自然に触れ、楽しむ姿が多くなってきました。どんぐりを振ると音が鳴るものがあることや、穴が空いているものはドングリ虫がいることなど、見た目だけではない様々な違いを楽しむ様子が見られています。電子顕微鏡を使い、どんぐりの帽子の細かな模様の違いにも気づく姿も見られています。また秋の自然物を使ってケーキを作ったり、ドングリ迷路を作ってみたりと、遊びに使ってみようとする姿も少しずつ見られはじめています。たくさんの秋の自然に触れ、様々な視点から探究することを通して、その面白さを感じたり、使って遊んでみようとする気持ちが広がったりしてほしいと思います。